

【令和6年度 厚生労働省事業】

歯科口腔保健の推進「モデル事業」報告

2025年3月10日
JUKI健康保険組合
櫻田清美

Building Sustainable JUKI

企業と健康保険組合の概要

JUKI株式会社

創 業 1938年12月15日
コーポレートスローガン 心の通う技術、Mind & Technology, JUKI.
本社所在地 東京都多摩市
資本金 180億4,471万円
従業員数 4,713名(グループ会社25社含む)
主な事業 工業用ミシン / 産業装置 / 家庭用ミシン 他

JUKI健康保険組合

設 立 1943年7月1日
所在地 東京都多摩市
事業所数 5
被保険者数 1,068名

Building Sustainable JUKI

歯科口腔保健事業のこれまでの取り組み

- 2005(H17)年7月～ 無料歯科健診の委託契約 WEB申込み
- 2008(H20)年～ 歯磨き月間を実施(9,10月) 申込みにより歯磨きセット配付
(11月) 歯磨き記録表を提出
- 2024(R6)年～ お口ケア30days実施(9月) 申込み問診回答により、
個別アドバイスシートとタイプ別歯磨きセット配付
(10月) アンケート回答により分析

*課題 申込みをした方のみへの歯科事業となっている



従業員に公平な形で歯科事業を展開したい！
(5年くらいアピールを継続：健保内・企業窓口へ)

- 2024(R6)年～ 定期健診時にモデル事業導入

モデル事業の流れ

* 事前準備、当日

- 2024年7月 厚生労働省説明会に参加
- 2024年8月 企業側にプレゼンをし、企業側からの質疑に回答しながら調整
→合意となる
定期健診業者との調整 →了承を得る
- 9月 (健診当日、定健業者に手数をかけない等)
口腔検査キットを事前配付する定期健診用問診等封筒に同梱を提案
- 10月 定期健診の案内(社内イントラ)に口腔リスク検査を記載
定期健診用問診等の配付封筒に、口腔検査キットを同封
←健保組合の手作業
- 11月 定期健診当日(11/5, 6, 7, 8, 11, 12)
定期健診の受付前に歯科健診の受付を実施
会場の入り口で従業員に声をかけ、歯科健診受付へ誘導し、
そのあと定期健診の受付を案内 ←健保組合と事務局チームで協力
歯科受付時、定期健診後、口腔リスクの結果の受取りを案内
結果の受取りを忘れている方は、すぐにチャットで連絡対応
(健診期間終了時、結果の未受領者無し)

モデル事業実施の流れ

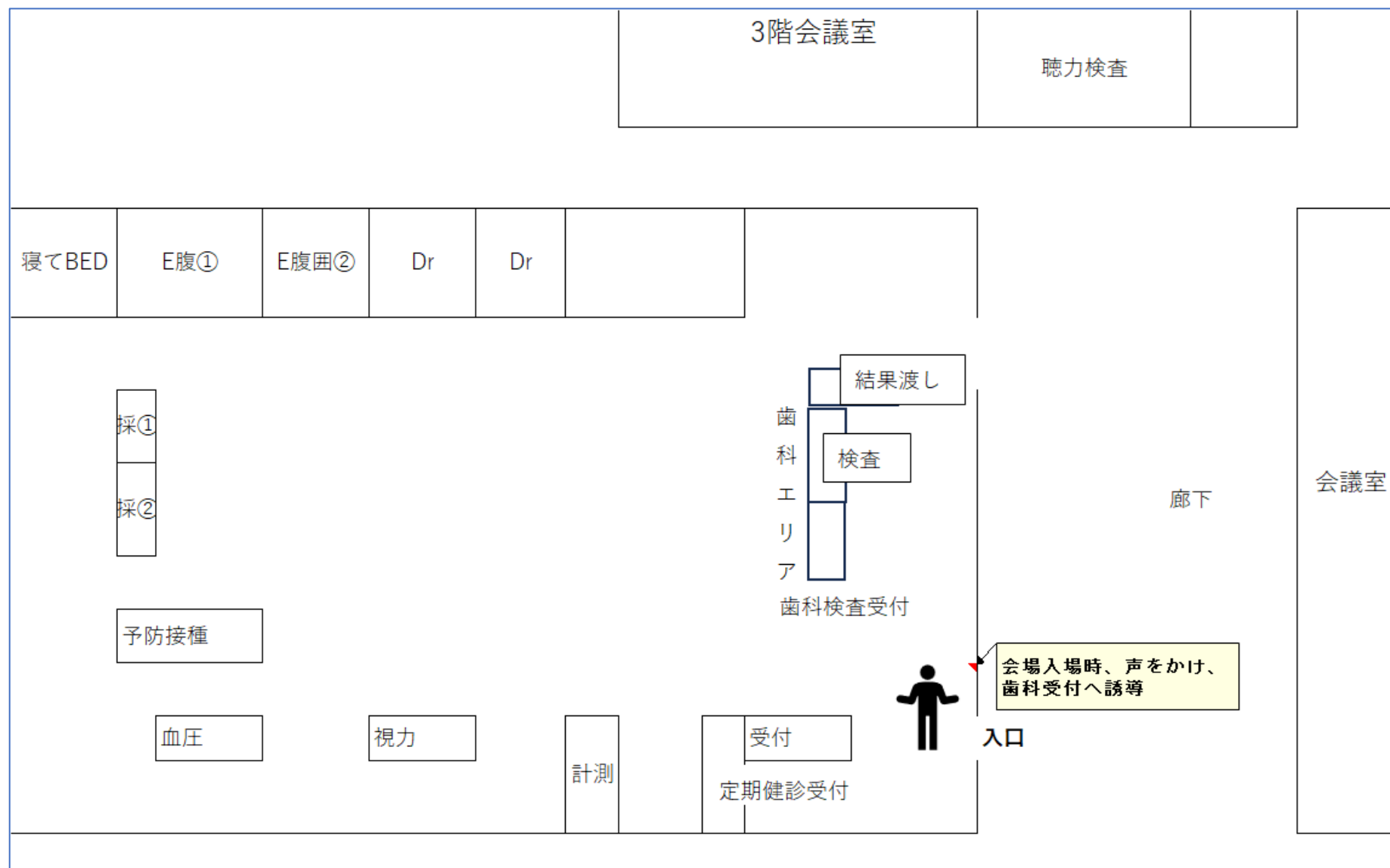
当日結果返却を行う場合の具体的な運用



モデル実施事務局

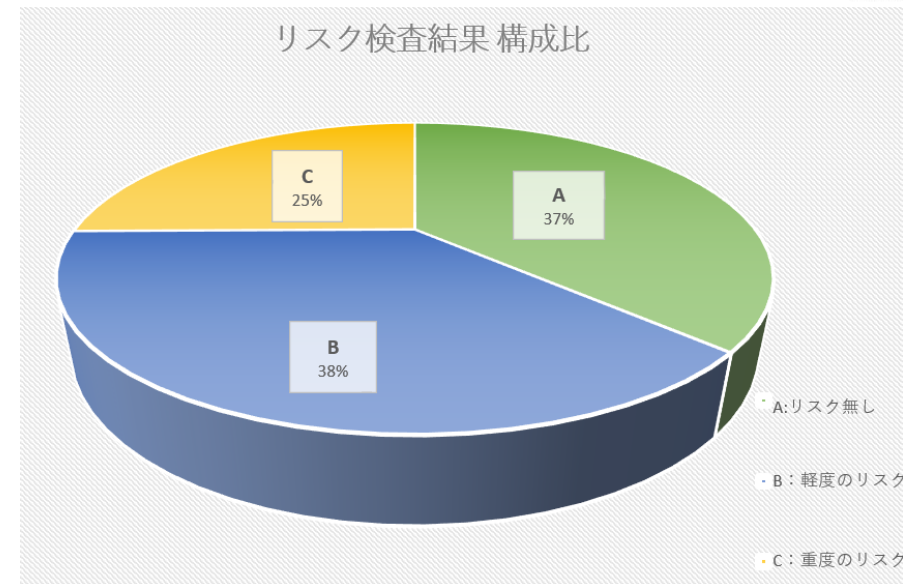
- ・ NTTデータ経営研究所
- ・ フレシキブル
- ・ アドテック

当日のレイアウト



検査結果等

定期健診期間中受検者数：600名
口腔リスク検査受検者：577名



受付けから結果渡し迄、概ねスマートな対応
従業員は、結果についてその場で質問が出来たことで関心が高まった

検査結果 B,Cを対象に受診勧奨を実施済み レセプトでの検証はこれから

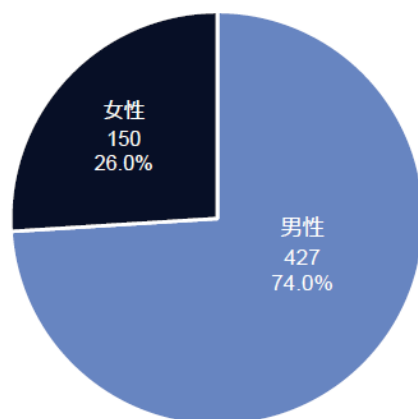
アンケート結果

年代別検査結果内訳

	A：低リスク	B：中リスク	C：高リスク	総計
20代	28	18	12	58
30代	34	23	16	73
40代	49	48	29	126
50代	80	72	53	205
60代	31	33	41	105
70歳以上	0	1	2	3
未回答	5	1	1	7
総計	227	196	154	577

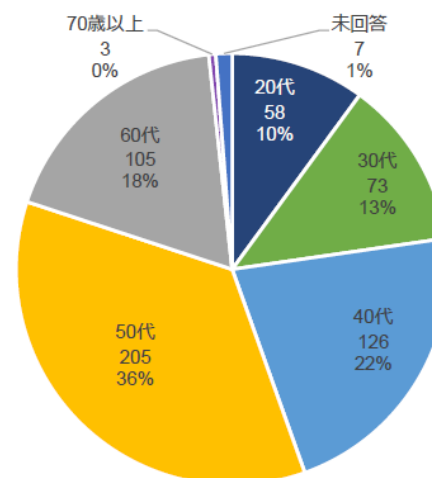
モデル事業参加者の性別

n=577



モデル事業参加者の年齢構成

n=577



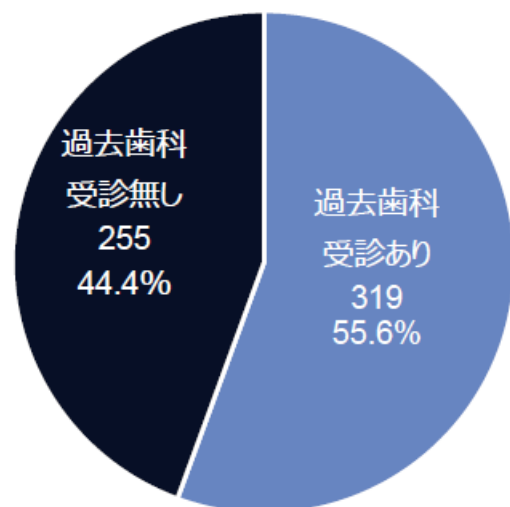
Building Sustainable JUKI

アンケート 結果

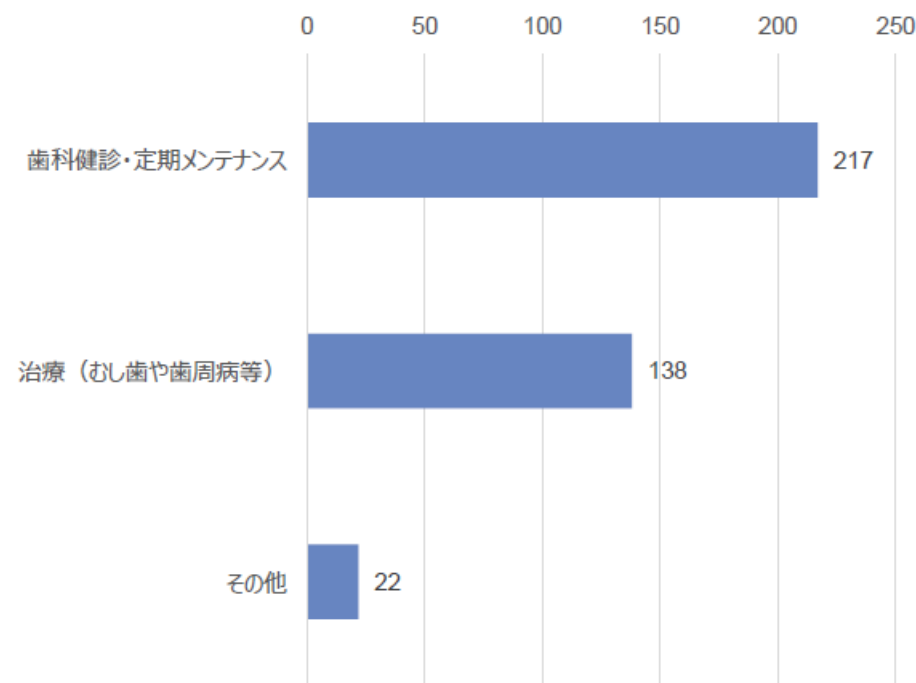
簡易な歯科検査実施前の参加者の歯科受診状況

- 簡易な歯科検査(アドチェック)の実施前の過去1年の歯科受診率は、55.6%であった。また、その受診理由の多くは、「歯科健診・定期メンテナンス」であった。

簡易な歯科検査実施前
過去1年間の歯科受診率 n=574



簡易な歯科検査実施前
過去1年間の歯科受診目的 n=319



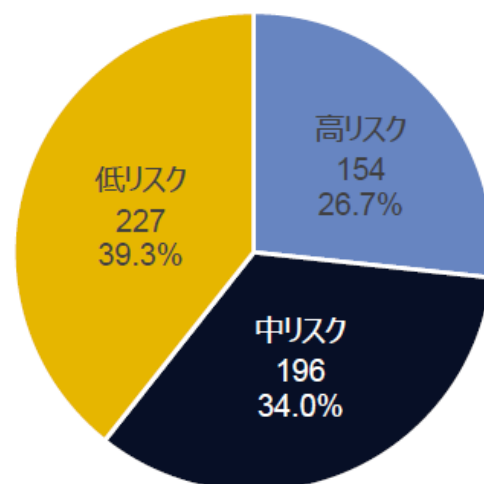
簡易な歯科検査の結果

- ・高リスク者のうち、無回答を除く約70%以上が「受診した」「受診するつもり」と回答した。
- ・中リスク者のうち、無回答を除く約63%以上が「受診した」「受診するつもり」と回答した。

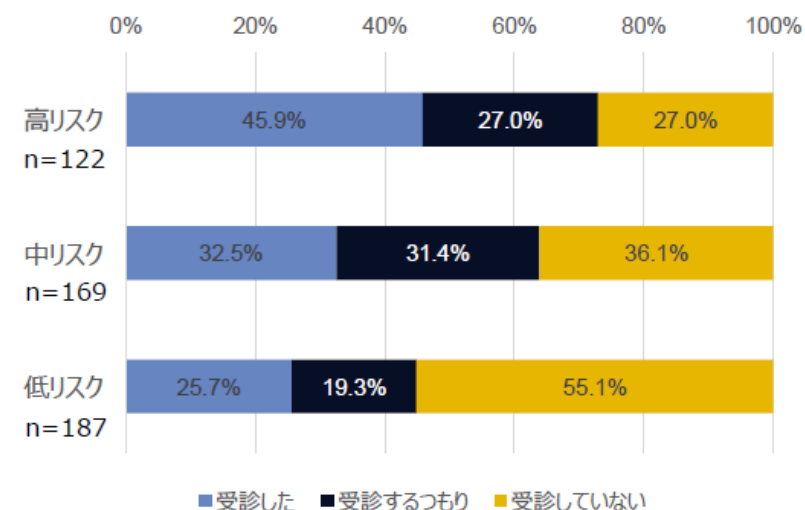
..... 簡易な歯科検査の結果とその後の歯科受診状況

簡易な歯科検査の結果

n=577



簡易な歯科検査の結果別歯科受診状況



- ・ アドチェック : A, B, Cの判定をそれぞれリスク低, 中, 高とした

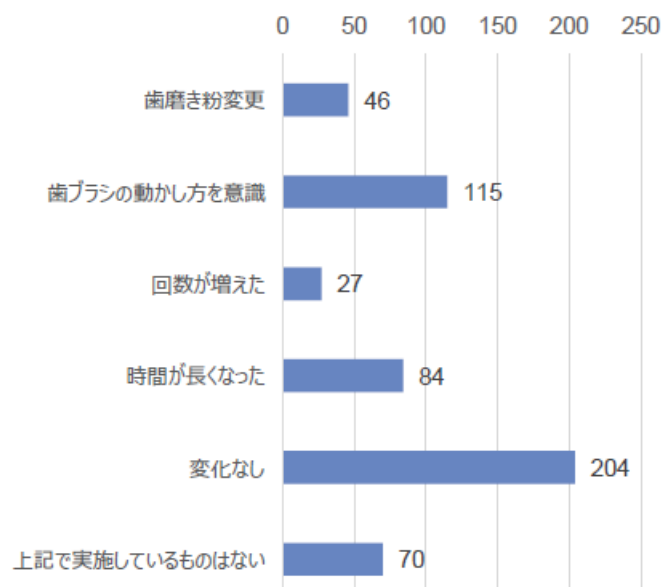
簡易な歯科検査をきっかけとした変化

- 「歯ブラシの動かし方を意識」、「時間が長くなった」など、歯みがきの質を向上させる行動を取る人も増えている。
- 簡易な歯科検査をきっかけに「30代でも歯周病になる」、「痛みがなくても進行する」という知識を得た人が多い。
- 簡易な歯科検査後のお口のケアに関する意識は「丁寧な歯みがきの意識が高まった」が最も多い。

セルフケア・意識・知識の変化

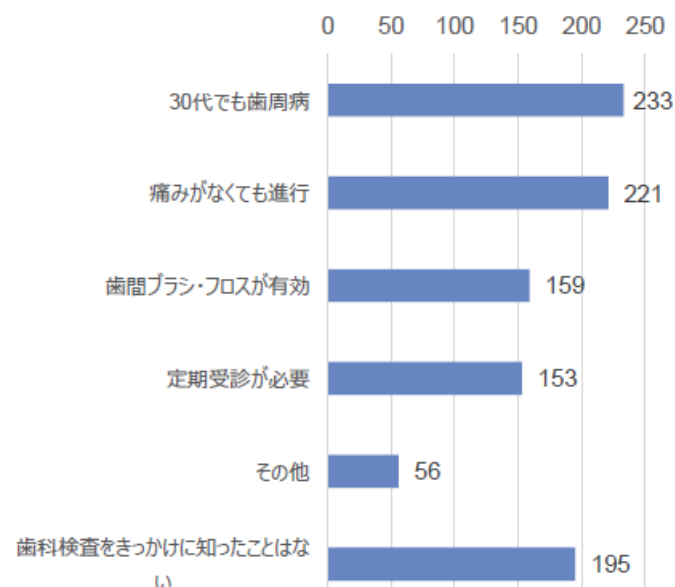
簡易な歯科検査後の 歯みがきでの心がけ

n=478



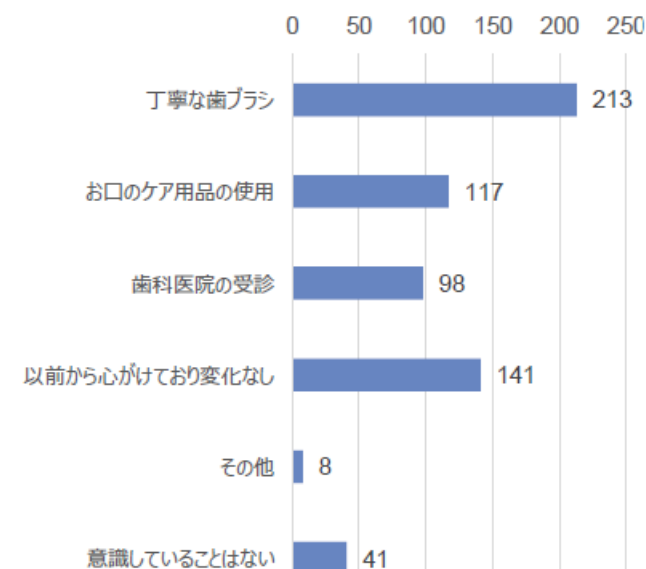
簡易な歯科検査をきっかけに 知ったこと

n=478



簡易な歯科検査実施後の お口のケアに関する意識

n=478



成果と課題

* 成果

従業員各々の口腔ケアのマイセルフ継続が持続可能になっている検証が出来た。アドチェック検査を受けた半数以上が既に口腔ケアをしていたことにより、これまでの歯科保健事業の効果があったことが分かった。

今回のアドチェック検査により、磨くから磨けているか、歯周病は年齢に関係ないことなど意識向上となった。

知識・意識が高まっているので、行動変容に繋がっている。

* 課題

歯科保健事業が持続可能になっていると捉え、毎年度の事業施策の方向性、具体性をどう定めるか。

今回、定期健診時に歯科保健事業の導入が実現出来たことで他の地域に拡大したい。地方の工場での定期健診に導入検討。

アドチェック検査を2年毎に実施するか、歯の検診そのものを導入するか等を企業側と協議していく。

厚生労働省モデル事業に参加出来たこと、事務局の皆様の支えに感謝申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

Building Sustainable JUKI